



本堂から望んだ客殿

西林寺だより

発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東3-14-17
(082)885-0018
西林寺
<https://sairinji.or.jp>



杖のことば

世の中を
受け継いだ時より
少しでも
よくするように
そして
後の人に
残せるように

西林寺ホームページ開設

念願のホームページができました。昨年より西林寺活性化委員会が協議し、有志の皆さまとホームページ開設準備委員会を立ち上げ、検討を重ね、開設に至りました。

この寺報「西林寺だより」の表題の下のアドレス (<https://sairinji.or.jp>) からパソコンやスマートフォンに接続できます。また、スマートフォンをお持ちの方は、QRコード(左記にも表示)からも接続できます。

西林寺の各種行事の案内のみならず、浄土真宗のみ教えや仏事(法事・葬儀・納骨)、本願寺の情報等、これから順次充実させてまいりますのでご利用ください。



QRコード

スマートフォンで読み込んでください。

西林寺みのもり食堂のご案内

私たちの宗門では、「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」という理念のもと、『御同朋の社会をめざす運動』(実践運動)を推進しています。

西林寺活性化委員会では、お釈迦さま以来、仏教が大切にしてきた「布施(ダーナ)」の精神をもとに、貧困の克服に向けた持続可能な開発目標(SDGs)の理念にも重なる取り組みとして、有志を募り、実行委員会を組織して、「誰でも参加できる。笑顔と居場所づくりを応援する」『西林寺みのもり食堂』を開設する運びとなりました。

4月より毎月第3水曜日(17時~18時)を基本に開設予定です。気軽に参加ください。
*40食を予定しています。参加者が多い時は、ご遠慮していただく事もあります。

場所 西林寺門信徒会館
日程 4月27日(水)
5月25日(水)
6月15日(水)

参加費 大人 三百円
高校生以下 百円
未就学児 無料

問合せは
西林寺(☎885・0018)
実行委員会 会長 奥廻 幸恵
(☎884・0530)

ヨガ教室のご案内

4月より「ヨガ教室」を始めます。お寺に身近に感じてもらうことや人とのつながりが希薄になりがちな昨今、少しでも人との触れ合いの中に、生活に張りを保ち、心身ともに健やかに生きる一助になるように、西林寺活性化委員会が協議し、「お寺ヨガ実行委員会」が結成されました。

毎月末火曜日(10時~11時30分)を基本に開催予定です。誰でも気軽に参加ください。

場所 西林寺門信徒会館
日程 4月26日(火)
5月31日(火)
6月28日(火)

参加費 五百円

講師 ヨガイノストラクター
正原 咲子 先生

※ヨガマット・タオル・飲み物は各自でご持参ください。

参加申し込み問合せは
正原弥生(☎885・1255)

花まつりのご案内

4月3日(日)13時30分より本堂にてお釈迦さまのご誕生をお祝いする子どもを集い開催します。お菓子を用意しています。

お釈迦さまの「誕生仏」に甘茶をかけて、お釈迦さまの誕生をお祝いしましょう。

法座案内

春季 永代経法座
四月 二十一日(木)昼席より
講師 北九州市小倉南区 香川 孝志 師

宗祖降誕会
五月 二十日(金)昼席より
二十一日(日)朝席まで
講師 呉市 安浦町 中村 啓誠 師

朝席7:00~・昼席13:15~・夜席19:30

編集後記

「オミクロン」と名付けられたコロナウイルスの新たな変異株は感染拡大に歯止めのかからない状況を生み、まん延防止等重点措置発令中は、お寺の行事がほぼすべて中止されました。これを最後に終息に向かってほしいとの一縷の望みはかなわないのでしょうか。

この現実もお念仏をもうすぐ縁と受け止めて、「今何ができるのか」を考えながら前向きに過ごしてゆきたいものです。

聞思録(もんしりく)

東日本大震災以降、恩師や複数の大切な人の死、そして西日本豪雨から新型コロナウイルスのパンデミックと、絶え間なく訪れた逆縁は、仏法を学ぶものとして、否が応にも「いのちの現実」の厳しさを深く突き付けられるものとなりました。還暦という年齢を迎えたことでもあるのでしょうか。「これまで計り知れないお育てをいただきながら、はたしてどれほど社会の役に立つ行いを為し得たのか。いただくばかりの人生ではなかっただろうか」という思いがいつも頭によぎり反省しきりです。

東日本大震災の復興を応援して制作された『花は咲く』という歌の中に繰り返される「わたしは何を残しただろう」という歌詞に出遇って以来、ずっと「自分の人生は未来に責任がもてるような生きざまになっているだろうか」という思いが脳裏によぎるようになりました。私たちは連綿と続く生命の歴史の中にあり、その生命の遺産を受け継いだ存在です。そしてその遺産を次世代に引き渡す存在でもあります。受け継ぎ、受け渡す。その時、私たちは少しでも負の遺産を取り除いて次世代に受け渡せるでしょうか。

人類は一世紀にも満たない間に、欲望の赴くまま、自然を征服し、公害をまき散らし、その結果、環境汚染や気候変動を起こしまし

た。それは目先の将来だけを問題にする浅かな人間のあり方によって人類の生存そのものが脅かされる未来が迫っていると警鐘でもあります。昨今、「SDGs(持続可能な社会を作るための開発目標)」とか「カーボンニュートラル(二酸化炭素を初めとする温室効果ガスの排出量から、森林管理等による吸収量を差し引いて合計をゼロにすること)」というフレーズをよく耳にします。時間を区切つてのこの取り組みは大切なものではあります。ここまでは原発による「核のゴミ」の問題は未解決のままです。

仏法は個々の人生を教えに照らしながら、この世のあらゆる事象を相対化し、問い返しの中に生きてゆくことを教えます。それは知ることではなく、よく生きる道を教えるものです。「杖のこぼ」の「世の中を受け継いだ時より少しでもよくするように。そして、後の人に残せるように」という示唆の通り、やさしい地球環境と確かな生きる道筋を後世に受け渡したいものです。念仏者として、それがたとえ微力な営みであっても、「あなたがすることのほとんどは無意味であるが、それでもしなくてはならない。そうしたことをするのは世界をかえるためではなく、世界によつて自分を変えられないようにするためである」とガンジーが語った思いを噛みしめて歩んでゆきたいと思えます。

大谷本廟

おたにほんみやう
大谷本廟は、本願寺の飛地境内地で宗祖親鸞聖人のご廟所(墓所)です。聖人の末娘である覚信尼さまは諸国の門弟の協力を得て、吉水の北に六角の廟堂を建て、ここに聖人のご影像を安置し、ご遺骨を納めました。この廟堂が大谷本廟の起源で、本願寺の始まりでもあります。慶長8(1603)年、現在地に移転して以来、親鸞聖人をはじめ本願寺の歴代宗主のご廟所として、聖人のご法義を仰ぎ、そのみ教えを大切にいただく全国の門信徒の尊いご懇念によって永い年月を経た現在も大切に護持されています。



また、全国の門信徒が「聖人のおそばにお骨を納めてほしい」と願い、その納骨を尊いご縁として「俱会一処」のお念仏のみ教えが次世代へと受け継がれています。

第二無量寿堂内には、西林寺の仏壇付納骨所があります。多くの門信徒の皆さまのお骨が分骨され、聖人をはじめ、先人のご遺徳を偲んで参拝されています。

仏教壮年会 あれこれ

煤払いとおみがき

12月28日(火)本堂内の一年の汚れを落とす「煤払い」、1月13日(木)に御正忌前の「おみがき」を仏教婦人会・仏教壮年会の有志で行いました。普段は手の届かない天井も綺麗になりました。

除夜の鐘

大晦日に除夜の鐘撞きに参加された皆さまのお世話をしました。150音余りの鐘の音が寒風を突き破って響き渡りました。



山門扉の修復



明治36(1903)年に改築された現山門は、優美な彫刻のほどこされた総ケヤキ造りの近郊に類を見ない見事な山門です。

これまで昭和45(1970)年と平成20(2008)年に瓦の葺き替え等の修復が行われてきましたが、扉の修復工事は初めてです。ケヤキ無垢の一枚板の観音扉は、それ自体の重さによる歪みで開閉に支障をきたしておりましたが、小屋浦の西谷建工業(株)様の懇切丁寧な施工により、立派に修復が完了いたしました。

仏教壮年会行事予定
四月二日(土) 15時から
総会
六月 初旬
松の木剪定

仏教婦人会 あれこれ

総会及び追弔法要のご案内

令和4年度の総会を、4月25日(月)に開催します。また、総会に先立って、昨年度にご往生されました会員の皆さまの追弔法要をお勤めいたします。

繰り合わせてご参集いただきますようご案内申し上げます。

合同初参式のご案内

5月21日(土)11時より、合同初参式を執り行います。

初参式は阿弥陀さまの尊前において「いのちの誕生」を仏祖に報告し、その喜びを噛みしめ、親としての自覚を新たにす真宗門徒において大切な儀式です。

万障繰り合わせてご参加ください。



ダーナ募金報告

皆さまよりお預かりしましたダーナ募金を坂町社会福祉協議会及びワイワイハウス、安芸教区安芸北組仏教婦人会連盟に寄付させていただきました。

今年もご協力ありがとうございました。

仏教壮年会行事予定